CMSC浜松・西川美佳選手の
ハンガリー12時間耐久レース参戦レポート

CMSC浜松　西川美佳です。
2010年1月ドバイ24時間レース出場に向けて準備をしておりましたが、チームの一員として迎えてくださるイギリス三菱からの急な連絡で10月9、10日にF1開催地であるハンガロリンクサーキットにて行われた「ハンガリー12時間耐久レース」に日本人初として、三菱ランサーエボリューションXのドライバーとして出場してきました。

急遽出場が決まったレースでしたので、まずは9月半ばにイギリスへ渡り、シルバーストーンサーキットでのテスト走行を終え、帰国しすぐにハンガリーへ発つという非常にタイトなスケジュールでした。

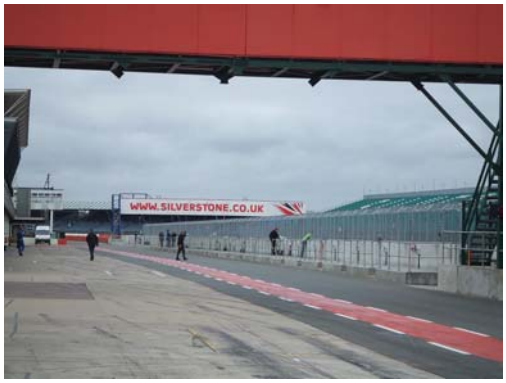
■イギリスでのテスト走行（2009年9月17日）

イギリス三菱のWRC Developmentsというチームで車両は最新のランサーエボリューションXです。

実はこのチーム、1月のドバイでのレースで知り合ったのですが、2010年のドバイでのレースへの出場がむずかしくなった事から代替レースとしてのハンガリー出場です。

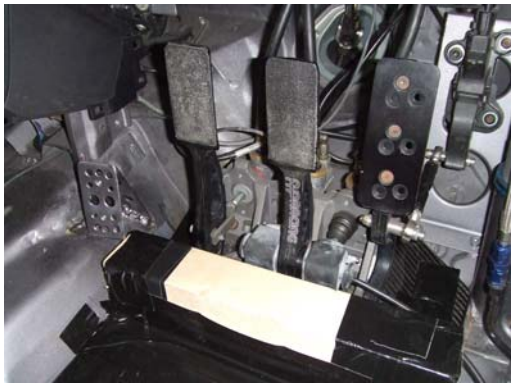
まずは急遽イギリスへ向かいドライバーとしてのテストを受けました。場所はシルバーストーンサーキット。テスト走行は翌日だったので、まずはサーキットへ行ってみようと、ロンドンから地下鉄、新幹線のような電車を乗り継いで向かいましたがノーザンプトンという駅に向かいました。しばし「世界の車窓から」の気分です。

ノーザンプトンという駅に着きシルバーストーン行きのバスに乗ろうとしたところでチームオーナーであるジェームスから電話が入り「一人で行くのはよくない。明日ホテルまでハイヤーを用意するからそれに乗ってきて！」と言われ翌日はハイヤーでシルバーストーンへ。確かにシルバーストーンへ向かうにはレンタカーや電車を利用したとしてもタクシーなどに乗ったほうが賢明なようです。



↓ まずは体格差の調整の為、スポンジをガムテープでぐるぐる巻きにしてシート合わせをしてくれました。

クラッチはオルガンタイプで普通のものと違いとてもショートストロークです。
そしてまた私の体格差調整の為にペダルの下に木をまたガムテープでグルグル巻きにしてつけてくれました。
意外と原始的な方法にびっくりです。
バックミラーもガムテープで貼り付けられていました。



なにしろ全てが初めて、大変緊張した走行。
マシンコントロールにもタイヤの使い方にも不安ばかりでしたが、マシンをおりた途端チームオーナーのジェームスからバンバン背中をたたかれて『ミカ！グッド！ベリー！グッド！』と何度も言っていただき合格しました！

あとでメカニックの方が「ミカは初めてなのにオーナーのジェームスの2秒落ちで走っていたから合格だよ！」と教えてくれました。

早速彼らは　私にピッタリのシートを作製するためガレージに招待してくれました。
UK三菱のチームのガレージにはエボのチューニングカーやWRCで活躍したマシンがずらり。

そして、帰国前夜だったのでチームオーナーであり、
ドライバーのジェームスとメカニックのベン達が夕食に誘ってくれました。

■「ハンガリー12時間耐久レース」（2009年10月9-10日）

●10月9日　予選

私が一番はじめに出走したのですが、いきなりアクシデント発生。
突然回転が上がらなくなってしまいました、エンジンスタートのボタンを押し続けるもすぐにとまってしまいレスキューに引かれてピットへ。

私の知る限りの英語で「回転が上がらない！」と知らせメカの方が色々と見た結果、回転数や油温、水温など一目でわかる、とてもかっこいいモニターがついているのですが、どうやらそれが問題だったようでモニター画面を切ったらエンジン回転が上がり、再スタート。無事に予選が終わりました。

大変だったのはこの後で決勝に向けてのメンテナンスが終わり、ドライバーチェンジの練習がなんと夜中の12：30から始まりコースクローズドの1：30までみっちり練習。その後メンバーとの食事をして就寝は午前2時半でした。

●10月10日　決勝

昨夜のドライバーチェンジ練習から寝不足のまま迎えた決勝。スタートドライバーはオーナーであるジェームス。私はメカニックの指示でスタートから2時間後に出走です。

プラクティスからかなりタイトなコースだとは思っていましたが、実際に長時間の走行を体験してみるとジェームスがマシンを降りた時「ミカ！走行前に水をたくさん飲んでおいて！」そう言われた意味がよくわかりました。彼らもここまでタイトだとは想像していなかったようで走行中に水分を補給する装置の手配がなく、私は走行中に喉がカラカラ。無線で「息が苦しいからピットに入れて！」とお願いすると「あと4ラップ」がんばってとアンディからの指示。

ほとんど過呼吸状態で転げ落ちるようにシートから降りると、隣のトーヨータイヤチームの女性が冷たいタオルで首を冷やしてくれ、暖かいスープと簡易ベッドを用意してくれました。彼らはポルシェでの参戦でしたが、車種、国籍も違うのにとても気遣っていただいて。ドバイ同様、ハンガリーでのレースコンセプトのひとつでもある事をドライバーズブリーフィングでこのように伝えられました。

「安全に楽しくそしてエキサイティングなレースに」

ドバイでも感じましたがハンガリーでもドライバー、メカニックの皆さんは車種、国籍関係なくとてもフレンドリーで真剣にそしてレースを存分に楽しんでいます。

エボXは順調に周回を進めナイトセクションをむかえたところでブレーキトラブル発生。タイムにトライするよりもマシンの温存をはかって、イギリス国籍ジェームス　ルーマニア国籍のジェームス　日本の私3名のドライバーで無事完走する事ができました。

結果はクラス4位。ポディウムを狙っていただけに残念ですが、無事にフィニッシュできてチームメンバー、ドライバーともに大喜びのレースとなりました。サーキットを後にし、向かったパブではチームのみんなでシャンパンを乾杯！

彼らは4時間後の飛行機でイギリスへ帰国するとの事でゆっくりレースの余韻を楽しむ時間もできませんでしたが、また会う事を約束してお別れです。

ドバイ24時間を目指してから数年。やっと海外でのレースに初出場できましたが初めてのコース初めてのマシン。反省も含めて大変貴重で充実したレースとなりました。

応援してくださったCMSCの皆様、また他チームながらも応援、装備品の手配、通訳を手助けしてくださった皆様、本当にありがとうございました。

CMSC浜松　西川美佳

＜＜Photoスナップ＞＞

私がチームの一員として参加したUK三菱チーム
「WRC　Developments Ltd」のトランスポーターです

マシンはイギリスでのテスト時よりエンジンパワーも上がり、インタークーラー、フロントデフは新品。ホイールはオフセットされ、前回よりも車高はローダウン。エアロパーツもカラーリングも施されて完璧でした。

プラクティスから装備品チェック、あっという間に予選に。国際レースなので「hans」は必須です。

■決勝前です

■決勝走行中

耐久レースシリーズ名物　お子様用ウェイテングルーム？！

日本の国旗とチーム紹介が掲げられていて感激しました。 ちゃんと私の名前もあります。

■「ハンガリー12時間耐久レース」情報サイト

・ホームページ

http://www.24hungaroring.com/default.asp?page=331

・リザルト

http://web.creventic.com/website/files/results%202nd%2012h%20Hungary%202009/Race_final.pdf

・エントリーリスト

http://www.24hungaroring.com/default.asp?page=265